

500人を超える皆さんが お越しくださいました



ひな人形展、終了

大好評で

女性活動部会



柘植地域 まちづくりだより 第231号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
千五二九一四〇二

発行日

二〇一九(平成三十一)年三月十五日(金)



柘植地域俳句コーナー
落味噌の

ほろと苦かり

母恋し

中村成子



2月26日～3月3日の6日間、ひな人形展を市民センターで開催しました。受付記帳者だけでのべ474人。園児や小中生などを含め500人以上の方々が人形展を楽しんでくださいました。3日(日)のお茶席(80人分)も大好評、センター湯沸室では担当者がていねいに立てた抹茶と和菓子セットにして、給仕・おもてなしをさせていたできました。



お雛様のご縁で、隣の上鞆田の方々がお越しになりました。

期間中、のべ63人の女性活動部会員がさまざまな役割を果たしました。



そうかれん
葱華輦の乗車体験
も大好評でした!



雛人形展スタッフのみなさん

学びを各区啓発に活かしてください



あるとき、
火事が起こりましたが、
消火管が地域にきていないので、
火が広がった。対策がす
すみ、住宅、道幅の拡張、
教育の保障

桑名人権フェイルドワーク
人権・同和部会
1月15日(火)に部会で桑名市ヘイルドワークに行きました。
この地域は海拔0mのところも多く、台風などの大雨や川の増水の恐怖を抱えていました。
産業として、ハップサンダルづくりを内職で分業していた家も多く、ミシンの音とにおいて家庭で勉強することの困難さ、必要な事業の周知が十分にされていなかったことによる生活の困難さを抱えたままの人も多くいました。

「教育ボランティア感謝の集い」が行われました。

3月12日(火)午前、柘植小学校体育館で、6人のボランティアが参加し、子どもたちからお礼の言葉と手作りしおりをいただきました。



子どもたちのよき成長を願って...



への取り組みをす
め、みんなで力をあ
わせて、人権のまちづ
りをすすめていきま
した。

心も身体も笑って元気!

健康づくり講演会を開催

健康福祉部会

2月23日(土)午後、柘植地区市民センターで「笑いヨガ」「転倒予防について」をテーマに健康づくり講演会(2部構成)を行いました。

参加者は20名でしたが笑って体と頭を使って楽しい時間を過ごしていただきました。



笑いヨガ：講師 藤川直紀さん

笑うことは、健康にいい、またコミュニケーションの潤滑油になり、人間関係をよくしてくれます。

面白いから笑うのは当然ですが、笑うから面白くなる、また諺の「笑う門には福来たる」

のように、よく笑う人は健康寿命が延びますとのことでした。会場は笑いでいっぱいになりました。



転倒予防：講師 福岡貴子さん

「転ばない体を作ろう」をテーマに、伊賀市社会事業協会梨ノ木診療所理学療法士の福岡さんに、体力チェック、



お話し全般を通じて、自分の年齢と比較しながら、転倒予防の大切さを学ぶことができました。

「楽しくわかりやすく、来てよかったです。明日から頑張ろうと思った」などの感想を参加者から多数いただきました。



安全・安心のまちづくりを



【お知らせ】啓発のぼり旗の交換設置

伊賀防犯協会

柘植青葉台・上町・下町・山出・中柘植の各区内に、合計15基の交換設置を行いました。(写真は柘植青葉台区)

不法投棄を許すな!

3月8日のパトロールで現地確認(中柘植区内)しました(左写真)。

伊賀警察・伊賀市廃棄物対策課と連携して、近日中に処理する計画です。

生活環境部会



不法投棄物を発見したら、則ち連絡を!

卒業おめでとう

3月7日(水)午前、柘植中学校卒業式が行われ、保護者・来賓等に見守られ、17名が卒業されました。



♪旅立ちの日に

防災訓練は10月6日(日)を予定

自主防災実行委員会

マニュアル改訂、内容を最終確認(各戸配付は4月頃を予定)



各区・各避難所施設管理者・伊賀市行政ら、約30名が集まり2年間のまとめをしました。関係者の皆様、2年間おつかれさまでした。

3月8日(金)夜、市民センターで第4回自主防災実行委員会が開催されました。合同防災訓練日時の概定と、改訂をめざしてきた「マニュアル」がほぼ完成し、その内容の確認をしました。「お願い」新元号になることもあり、この春、「安否確認シート」の更新をよろしく願います。

来年度の

新規事業(案)の募集

新「部会員・事業実行委員」の公募をしています!

来年度のまちづくり活動を担う方々や「まちづくり計画」の趣旨に沿う新規事業を募集しています。(チラシは3月15日便で回覧。またHPでも掲載しています。)関心のある方は事務局等へお問い合わせください。

なお、現在の規約では総会構成員として「区長推薦」で出てください。部長が部会活動の中心となります。

区長推薦者は区長様を通じて登録をお願いします。ことになります。

★★★事務局だより★★★

▼3月2日(土)、霊山山麓で名古屋大学オリエンテーリング部主催の大会が開催されました。柘植小体育館が本部となり100組ほどのチームが好天の下でOLを楽しまれました。なだらかな傾斜コース、交通アクセスの良さなどがメリットだそうです。「おもてなし」として、横断幕などを使ってメッセージを掲げ「柘植」をPRしました。(西田方針)

チラシ用
QRコード
ググ
公募

区長のみなさん、 2年間、 おつかれさまでした

前川区長 高橋春光

この2年間で区の現状をはじめ、まち協のあり方が自分なりによく理解することができました。

前川区については、区内の財政の建て直し、組織の見直し、防災の意識向上、人権同和に関する係り方等の問題を自分なりに微力ですが、尽力させていただきました。少しでも区民の皆様方が、安心・平和・幸福になるよう願っております。

まち協に関しては、執行部、各部会、区長の方々が充分に意見を出し合い、今後の進むべき方向性を探る必要があります。

私はまず地区住民の幸福が第一と考えます。そのために何をするのか、決して目先の事業にとらわれず、根本的な問題解決が重要です。一人ひとりに他を利する心が目覚め、実行し、心豊かなまちづくりが大切です。すなわち、人権同和教育が必要であり重要であります。つまり「神意同化の自治制」であります。柳生新影流の極意は勇気の「勇」、これをもって「日々これ道場なり」「我以外皆師なり」を心の糧に頑張ります。ありがとうございました。

岡鼻区長 久泉 剛

区長2期目の2年間は、集議所の新築、ふれあい広場の新設と、忙しい毎日でした。また少子高齢化が急速に進む中、先輩諸氏が築き上げられた区の伝統行事等を守るために、できるだけ簡素化し、継続していくにはどうすればよいか、区・組による現状の課題、区行事、当番についての考え方、まちづくり協議会、消防団組織、区財産運営等、幅広い項目で2回にわたるアンケートを実施しました。

アンケート結果を踏まえ、各組の常会、幹部会、総会を通して、改善・整理できた項目もいくらかありました。まだまだ道半ばであり、次期区長様には、ご苦勞を掛けますが、引き継ぐこととなりました。最後になりましたが、区長在任中は、皆様方のご援助、ご協力に感謝し心より御礼申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い致します。

下町区長 森下 仁

区長になり早くも2年が経ちました。振り返りますと、初めのうちは、何をすれば良いのか分からずに、前任者の報告文書などを引っ張り出して来て参考にしていたのを思い出します。ようやく慣れてきた頃には、もう次の区長さんにバトンタッチです。私は区民の皆さんに話すときはいつも元

気で、仲良く、楽しく、気楽に、皆が安心して暮らしていける区にしたいと思って話をしてきました。この事をいつも念頭に置き、区の行事を行って来ましたが、皆さんには当たり前で、思いがあまり伝わらなかつたように思います。

現在、区民の少子高齢化が急速に進んでおり後継者の居ない家が大多数を占めています。又、3軒か4軒で一つの組が多く出ており、今後、組の編成替えが、大きな課題になると考えています。

今年に入り、初参会、幹部会等で問題を提起し、話し合いを始めましたが、いろんな問題が有り、一つ一つ解決していかねければならず、なかなか結論に達しないのが現状です。次の幹部さんには、この件を引き続き議論して頂き、将来より良い組への編制替えが出来る事を願っています。

山田区長 中島 義文

当区の喫緊の課題である区行政組織の見直し、集議所建替え問題(耐震化とバリアフリー化)、むらおこし事業の懸案事項について、区長就任時に目標を立て、区役員の全面的な協力のもと全力で取り組みました。

区行政運営にあたり「組」組織の重要性を再認識し、組の合併に係る区民との意見交換会を通じて、区運営上の諸課題を真剣

に話し合う機会となり、区全体の問題として再認識する場ともなりました。また、多くの女性が意見交換会に参加する中で、区行政への女性参画にもつながると共に、区役員への女性参画を進めることができました。そして、区総会で区規約の改正案が全会一致で承認されました。

集議所の建替え問題は、改築計画(案)づくりから区民の意見を聞きくため、建設実行委員をはじめ、各団体等との意見交換会を開催、また、むらづくり推進委員会だより等を通じて、随時、区民にその情報を提供し、多くの皆さんに参画して頂く中で区民の総意で助成申請書類を作成し、市に申請書を提出することができました。

また、むらおこし事業については、中山間受益者団体役員、農家組合役員、むらづくり推進委員、区幹部役員が協力し、「寺東地区夢のある元気な魅力づくり事業」に取り組みました。課題や反省点が多くありましたが、みんなが集まり、協力し合って考え、行動していくことが、何らかの解決の道を見出せる方策ではないかと考えています。

上町区長 丸柱 祐道

諸先輩の築かれた区をお預かりして、はや2年が経過いたしました。「地域は家族」という考えに立ち、みんな仲良く安全で住

みよい地区をめざして活動を心掛けたつもりであります。しかし人口減少高齢化の波は避けられず、ますます地域の絆の大切さを実感しているところであります。

就任期間中、遅ればせながら地縁団体としての法人化に区民全員の賛同をいただき、行政(市)のご認可を待つ運びとなりました。諸行事におきましても区民のみなさんの力で遂行いただき、区の絆を深める一助となったと感じております。また区の要望事項実現には、まちづくり協議会の応援が大きな支えともなりました。しかし今後は包括交付金等減額で厳しい時代を迎えますが、柘植地域全住民の知恵と団結で乗り切り、発展を期したいものです。

上村区長 山岡 幸五

上村区としての問題は、人口減少や高齢化率が4%と高いことがあげられます。

問題の一つは、区の安全等に関わる環境維持(出合い等)への対応です。高齢化に伴い作業への負担と危険度が大きくなって来た為、組単位から区全体作業への切り替えや必要最小限への作業範囲の見直しを実施しました。

二つ目は、区内運営や行事に関わって貰うべき人が不足してきていることです。区の幹部制度や組頭の人選・人数調整が急務となってきました。そうしたことによる、

まちづくりへの参加も支障が出てきているのが現状です。

これ以外に、放棄田・畑、道路・水路等の破損、空き家対策等数多くの問題があります。今後は一区民として、自助・共助を考え協力したいと思えます。

柘植青葉台区長 森 惠美

区長の仕事に就いて生活が一変し、趣味のすべてを休止してひたすら走ってきた気がする。まず、山積する課題をピックアップし優先順位をつけて取り組んだ。長年に亘って解決されていない空き地の雑草放置問題の解決を行政に働きかけるも遅々として進まないのが現状。次の優先課題は班の再編成。年々増加傾向にある当区は現在134世帯で、それをわずか4つの班で構成している。他地域の組構成を参考に、命に係る防災・減災を一番の目的としてアンケート調査を実施。1班は10軒がよいと思われるが、区民の半数近くが無回答。一方、前向きな区民が29世帯で最多であるが、反対区民の強い声もある。こんな中でも耳を傾けてくれる区民には粘り強く説得し、納得してもらえよう時間をかけて解決したい。その為には、次期役員にもこの班編成を引き継いでいく。今まさに、班編成のスタートを切ったところである。

次号に続きます